

安全データシート

ポリ塩化アルミニウム

作成日 1998/6/1

改訂日 2022/4/1

1 化学品および会社情報

化学品の名称：ポリ塩化アルミニウム
供給者の会社名称：タイキ薬品工業株式会社
住所：福岡市東区東浜一丁目9番4号
電話番号：092-641-5736
メールアドレス：info@taiki-y.co.jp
推奨用途：凝集剤
使用上の制限：

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 分類できない、区分に該当しないは省略。区分該当判定は項目1.1及び1.2参照
物理的及び化学的危険性： 金属腐食性物質 区分1
人の健康に対する有害性： 皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

警告

危険有害性情報：

【物理的及び化学的危険性】

H290 金属腐食のおそれ

【健康有害性】

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

注意書き：

【安全対策】

P234 他の容器に移し替えないこと。

P264 取扱後は手をよく洗うこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

P406 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

3 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物（水溶液）

化学名又は一般名	成分濃度範囲	化学式	官報整理番号	CAS No.
ポリ塩化アルミニウム	20～23質量分率% (塩基性塩化アルミニウムとして)	$[Al_2(OH)_nCl_{6-n}]_m$ (ただし $1 \leq n \leq 5$ 、 $m \leq 10$)	(1)-12 (塩化アルミニウムとして)	1327-41-9
水	残分	H_2O	対象外	7732-18-5

慣用名又は別名： PAC、パック、塩基性塩化アルミニウム

4 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類、靴などを脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗淨する。外観に変化がみられ、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
眼に入った場合：	直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。その際は瞼を開き水が全面にゆきわたるように行う。医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用の場合、取り除いて洗淨する。
飲み込んだ場合：	飲料水を多量に飲ませた後、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：	情報なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。
医師に対する特別な注意事項：	情報なし。

5 火災時の措置

適切な消火剤：	周辺の火災に適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤：	情報なし。
火災時の特有の危険有害性：	消火作業の場合は必ず保護具を着用する。
特有の消火方法：	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	消火活動では、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したりしないようにする。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河等に排出され、環境へ影響を起ささないよう注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化方法と機材：	漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉出来る空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策：	情報なし。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	取扱い後はよく手を洗うがいをする。火気注意。 飲み込みを避けること。ミスト、蒸気を吸入しないこと。

眼に入れないこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

接触回避：

保管

安全な保管条件：

耐腐食性の内張りがされているもので、適切な容器で貯蔵すること。

安全な安全な容器包装材料：

耐腐食性、耐腐食性内張りのあるもの、又は適切な材料の容器で保管すること。
最初の容器内でのみ保管すること。

8 ばく露防止および保護措置

許容濃度：

日本産衛学会 2021年版 設定されていない
ACGIH 2021年版 設定されていない

設備対策：

取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具：

必要に応じて保護具を着用すること。

手の保護具：

保護手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具：

眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：

保護衣を着用すること。

9 物理的および化学的性質

物理状態：

液体

色：

無色ないし黄色がかったうすい褐色

臭い：

無臭

融点/凝固点：

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲：

データなし

可燃性：

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界

不燃性

/可燃限界：

引火点：

不燃性

自然発火点：

不燃性

分解温度：

データなし

pH：

2.2(原液) ※自社測定値

動粘性率：

データなし

溶解度：

データなし

n-オクタノール

/水分配係数(log値)：

データなし

蒸気圧：

データなし

密度及び/又は相対密度：

1.19~1.20g/cm³(20°C)

相対ガス密度：

データなし

10 安定性および反応性

反応性

化学的安定性：

常温常圧下では安定である。水との希釈により白濁することがある。

危険有害反応性可能性：

製品は強熱して蒸発乾固させると塩化水素ガスを発生する。

避けるべき条件：

加熱。金属との接触。アルカリ剤との接触。

混触危険物質：

次亜塩素酸ナトリウムと混合すると有毒な塩素ガスを発生する。

危険有害な分解生成物：

塩化水素ガス。

11 有害性情報

急性毒性(経口)：

マウス LD50 12790mg/kgにより区分に該当しないとした。

急性毒性(経皮)：

データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入:蒸気)：

データ不足のため分類できない。

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）：	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/皮膚刺激性：	pHが2.2であることから区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	pHが2.2であることから区分2とした。
呼吸器感受性/皮膚感受性：	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性：	データ不足のため分類できない。
発がん性：	データ不足のため分類できない。
生殖毒性：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器（単回ばく露）：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性：	動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12 環境影響情報

生態毒性：	
水性環境有害性 短期（急性）：	ヒメダカの48時間のLC50=840mg/Lから、区分に該当しないとした。
水性環境有害性 長期（慢性）：	ヒメダカ 48時間LC50>10,000ppmより区分に該当しないとした。
残留性・分解性：	データなし
生態蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため区分に該当しないとした。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物：	消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等を加えて中和した後、廃棄する。 都道府県知事等の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	I M Oの規定に従う
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
国連番号：	UN 3264
品名（国連輸送品名）：	その他の腐食性物質（無機物、液体、酸性のもの） （塩基性塩化アルミニウム溶液）
国連分類：	Class8
容器等級：	Packing Group III
MARPOL73/78附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送される	
液体物質：	非該当
国内規制	
陸上規制情報：	非該当
海上規制情報：	船舶安全法に従う。
航空規制情報：	航空法の規定に従う。
特別の安全対策：	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
緊急時応急措置指針番号：	154

15 適用法令

法律名	法規区分名
-----	-------

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）【37 アルミニウム及びその水溶性塩】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）【37 アルミニウム及びその水溶性塩】

水質汚濁防止法

指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）【44 アルミニウム及びその化合物】

水道法

有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）

【33 アルミニウム及びその化合物】

海洋汚染防止法

有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）【123 ポリ塩化アルミニウム溶液】

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2827 塩化物、塩化酸化物、塩化水酸化物、臭化物、臭化酸化物、よう化物及びよう化酸化物】

16 その他の情報

参考文献

日本ケミカルデータベース(株) 化学物質法規制検索システム
 緊急時応急処置指針 容器イエローカード（ラベル方式）への適用
 国立環境研究所 化学物質データベース (<http://w-chemdb.nies.go.jp/>)
 厚労省 職場のあんぜんサイト
 (https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx)
 国際化学物質安全性カード（ICSC） (<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>)
 NITE 化学物質総合検索システム GHS分類結果データベース
 (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>)
 NITE-Gmiccs GHS混合物分類判定ラベル作成システム
 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター (<http://www.jaish.gr.jp/>)
 (財)日本食品分析センター「ヒメダカによる急性毒試験」報告書

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本文書は日本産業規格 JIS Z7253:2019に基づいた文書です。